

Case Study

導入企業7社が語る

# 自動マニュアル作成ツールで 実現したこと



進化するマニュアル。

Dojo シリーズ

# 「Dojo」でセキュリティインシデント対策 & マニュアル作成工数を80%削減！

Dojoを活用いただいているリコージャパン株式会社様に導入背景と活用事例についてお話を伺いました。



リコージャパン株式会社  
ICT事業本部 ICT技術本部 DSPSソリューション部門 テクノロジーセンター  
写真左から、小島 宏之 様、清水 千史 様、高野 浩一 様、田附 朋之 様

テクノロジーセンターは、リコージャパン株式会社の大手市場のお客様に対して、自社プロダクト商品を中心に大型一括導入や高度案件(カスタマイズやパートナー製品との連携)の提案から導入技術支援を担う。要件定義、導入設計、カスタマイズ保守を絡め、メーカー設計区との連携などを実施するSE部隊。

## ■ User Profile (2020年4月1日現在)

リコージャパン株式会社  
設立: 1959年5月2日  
代表取締役社長: 坂主 智弘  
資本金: 25億円  
従業員数: 18,194名  
業務内容: さまざまな業種におけるお客様の経営課題や業務課題の解決を支援する各種ソリューションの提供。複合機(MFP)やプリンターなどの画像機器や消耗品およびICT関連商品の販売と関連ソリューションの提供サポート&サービス(画像機器やICT関連商品の保守、ネットワーク構築・保守、ICT運用業務代行)  
本社所在地: 東京都港区芝3-8-2  
芝公園ファーストビル

## 導入の背景

### ■ マニュアル作成ツール導入前の課題

— リコージャパンではマニュアル作成ツール導入前にはどんな課題がありましたか。

弊センターではドキュメントに関して「共通化・効率化・共有化」の3つの目標がありました。マニュアル作成において重視したのは「共通化」と「効率化」で、マニュアルのファイル形式の見直しやひな形の作成、制作時間を削減する効率的な方法などを検討しました。

以前作成した既存のマニュアルの使い回しをする、操作画面に含まれるお客様名やお客様個別の情報(IPアドレスなど)が外部に流出する「セキュリティインシデント」発生の恐れがあります。しかし、それを防止するために流用を禁止とすると、お客様毎に操作画面のキャプチャを取得する必要があり、逆に作業時間が掛かってしまいます。

そこでマニュアル作成ツールを導入し、共通化(ファイルタイプやデザインの統一)と効率化(作業時間の短縮)の両目標達成を目指すことにしました。

## 導入の決定

### ■ 10社以上の競合製品の中で勝ち残ったDojo(ドージョー)

— 数多くのマニュアル作成ツールがひしめき合う中、どうしてDojo導入に至ったのでしょうか。

2018年度は「SE作業の標準化と効率化」というミッションがありました。日々の案件で、お客様の運用に合

わせたユーザーマニュアルや管理者マニュアルの作成があり、SE作業を行う身としては少しでもドキュメントの制作時間を減らしたいという思いがありました。

そこで、新規作成と既存マニュアルを使用した再作成、両方の1年間のマニュアル作成工数を算出したところ、「1案件に対して平均で約2人日」、「1ページに対して平均で約20分」もかけていることがわかり、マニュアル作成ツールの導入検討をはじめました。

10社のツールを比較して上位2社に絞り込み、それぞれデモを実施いただき、体験版検証も行いました。その結果、Dojoは主に3つの点で他社のマニュアル作成ツールより優れていることがわかりました。

機能面	PowerPoint形式の出力、Wordテンプレートの加工ができる
サポート	ヘルプデスクサービスがある
拡張性	ライセンスの追加が安価にできる

共通化と顧客ニーズをクリアするために、弊センターではPowerPoint形式での出力機能は必須でした。また、他社にはないサポートやライセンスの拡張性、利用方法に応じて価格帯が分かれているなど、Dojoの決め手は多岐にわたりました。

## 実際の制作物

### ■ Dojoで作成されたリコー複合機マニュアル

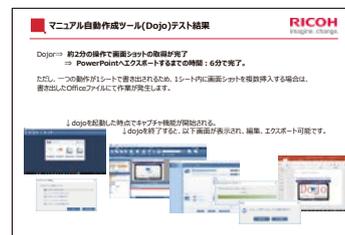
— 皆様はどんなマニュアルをDojoで作成し、展開しているのでしょうか。

リコー複合機の操作マニュアルをはじめ、プリンタードライバの使い方やインストール方法などを作成しています。マニュアルにはそれぞれお客様向け納品用と、社内作業用の2種類があります。

お客様向け納品用マニュアルは、マニュアルエディター機能を利用して弊社ロゴをヘッダーとフッターに挿入し、固定位置に画面キャプチャが自動挿入される専用テンプレートを用意して作成しています。社内作業用のマニュアルは簡易作業手順書の様なもので、Dojoの基本機能で作成しています。どちらもDojoで取得した画面キャプチャを使いWordやPowerPointデータに出力し作成しているため、工数はほとんど掛かっていません。

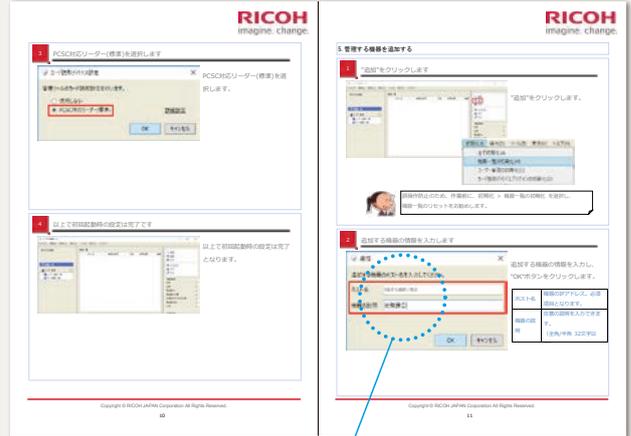
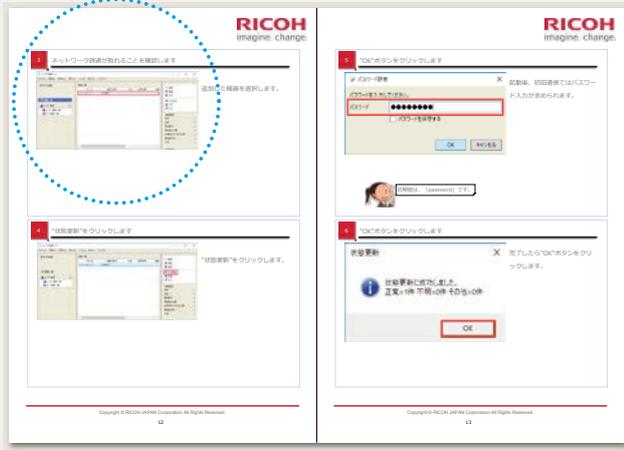


### 導入決定までの比較検討プロセス



導入に先立ち、10社分のツールを作業工程や工数など、多岐にわたる項目で比較検討された結果、Dojoが選ばれました。

自動で画面キャプチャーを取得できる上に、テンプレート機能で、画面の位置も固定されるので、マニュアルの作成工数が大幅に削減されました。



マニュアル作成が簡単になることで、過去データの使い回しによる、お客様個別の情報(IPアドレスなど)が外部に流出する「セキュリティインシデント」を防止することができました。

## Dojoの使用感

### ■ユーザーに寄り添った製品

— 実際にDojoを使用してみたい感想や、利用時に困ったことなどはありますか。

Dojoはセットアップが簡単ですぐに利用開始できました。また、**導入時の基本編、応用編(各2時間)の訪問操作指導サポート**があり、Dojoの操作習得も容易でした。必要最低限のライセンス数で始めていますので、今後、他部門がDojoの利用を希望した場合、ライセンス数を増やすことを考えています。

現在のところ特に困ったことは無く、基本的に訪問操作指導でいただいたマニュアルを見ながら



Dojoに触れることで解決できています。**Dojoは操作性がMicrosoftのOffice製品に近いので分かりやすいです。**

## 導入効果

### ■Dojoの導入効果

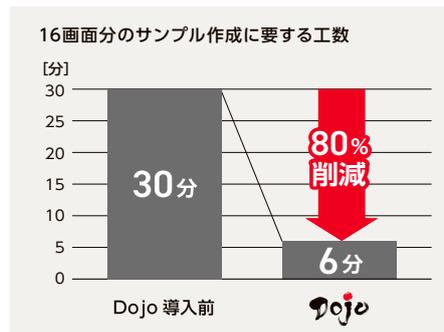
— Dojo導入により従来のマニュアル作成と比較して、どの程度工数を削減できましたか。

リコー複合機の操作マニュアルは、お客様毎の操作パネルの図と説明が必要です。Dojo導入以前はブラウザで操作パネルを表示し1画面ずつキャプチャを取得、PowerPointに添付して位置などを整え、操作説明を記入していました。16画面分のサンプルで30分はかかっていました。

しかしDojoでは**自動で画面キャプチャするだけでなく、パネル毎の操作も記録でき**、マニュアルエディターのテンプレート機能で画面キャプチャの位置も固定され、同じサンプルを6分程度で作成できます。工数が80%も削減できました。

マニュアルを新規作成しても再利用しても、1ページの作業工数に差がないことが分かっていたため、導入後はDojoで都度、新規作成することにしました。それにより、共通化と作業時間の効率化を図ることができ、さらに「**セキュリティインシデント**」の発生も防ぐことができました。

### 費用対効果



## 非常事態における対策

### ■新型コロナウイルス感染症の流行、そしてアフターコロナ対策としてのマニュアル

— コロナ終息後のテレワーク恒常化において、マニュアルの必要性は高まると思いますか。

マニュアル無しで問題なく使えるシステムが理想ではありますが、実際には簡単に運用できない

システムも多いため、テレワーク環境でも利用できるようにマニュアル整備は不可欠でしょう。Web会議などの基本ツールだけではなく、リモートですべてのシステムを利用するので、わかりやすいマニュアルが求められます。また、システム操作習得のためにいつでも誰でもeラーニングコンテンツを作成でき、学習できる環境整備も必要になると考えています。

さらに、リコージャパンもそうですがBPOを請け負う際の整備や、既に着手しているRPA化の拡充に向け業務手順書作成も必要となり、そこでもDojoが活用できると考えています。

## 今後、期待すること

### ■Dojoやテンダに期待すること

— Dojoやテンダに何を期待しますか。

最近ではタブレットで利用するシステムも増えているため、Dojoでそのマニュアルを簡単に作成できるようになると良いですね。

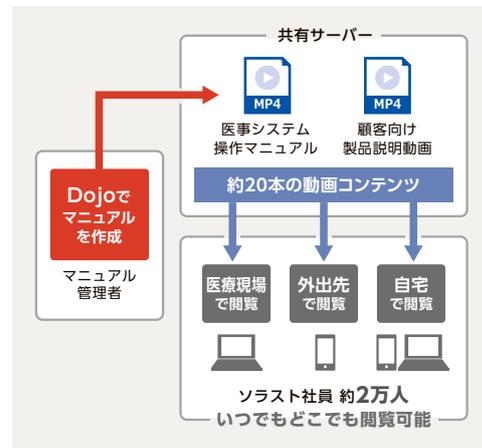
幣センターではDojoを有効活用できているので、その活用方法を含めリコージャパンのお客様にも紹介し、ビジネスコンセプトである「お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出する\*」のための、ひとつの提案ツールとして拡販していきたいと考えています。

最後に、リコージャパンではNotes移行におけるSI提案にも力を入れています。Dojoだけではなく、テンダのNotes移行ソリューションとも上手く協業や連携ができれば嬉しいですね。

\*リコージャパン株式会社コンセプト  
<https://www.ricoh.co.jp/sales/about/concept/>

# 2万人が利用！ Dojoで医事システムをマニュアル化

Dojo(ドジョー)をご活用いただいている株式会社ソラスト様に、導入経緯と活用事例について、お話を伺いました。



株式会社ソラスト  
医療事業本部 サービスオリティ推進部  
シニアディレクター 佐藤 博信 様 (写真右)、野本 真代 様 (写真左)、南 成美 様、竹内 好範 様

## 導入前の課題

### ■面倒な手作業でのマニュアル作成

サービスオリティ推進部の業務は、採用が難しい医療事務にICT(情報通信技術)を取り入れて、人がいなくても業務が回る仕組みを整え、生産性向上を目指すことです。また、現場に導入したシステムが使い易ければ、お客さまに紹介し販売することもあります。これらのシステムについて、社内外の製品説明動画やマニュアルは手作業での作成だったため、時間がかかり十分な整備ができていないことも大きな課題でした。

## 導入経緯・導入の決め手

### ■Dojoを使っている企業からの紹介

そんな時、おすすめのマニュアル作成ツールとして、実際に導入している取引先からDojoを紹介いただきました。それまでツールの導入は考えていませんでしたが、Dojoを活用することで広く展開する資料として、高品質なマニュアルや説明動画が整備できると感じました。何よりその取引先でもDojoを有効活用しているとのことなので、信頼できると思い導入を決めました。



## 主な活用方法

### ■2万人の社員にマニュアル展開

Dojoでは、医事システムや電子カルテの動画マニュアルを作成しています。社内向けのシステム操作マニ

アルから顧客向けの製品説明動画まで、合わせて20本程度のコンテンツをMP4形式で用意しました。見ている人を飽きさせないよう、音声を入れて10分以内に収めるよう工夫しています。作成したマニュアルは共有フォルダで管理し、現場に設置されたPCから閲覧できます。さらに社員サイトにも掲載して個人のスマートフォンからもアクセスできるようにしました。医療事務として現場で働く2万人の社員が「いつでも、どこでも」マニュアルを閲覧できるように展開しています。

## 実際の制作物

### ■マニュアル作成工数8割減、修正も簡単に

Dojoを使わずに手作業でのマニュアル作成時間と比較すると、8割は工数削減できたと思います。また、マニュアル完成後も修正がしやすい点に、より導入効果を感じています。説明動画を修正する際、今までは一から音声を取り直す必要があり、大変面倒でした。しかし現在は、Dojoの自動音声合成機能で、自席でテキスト入力するだけで手軽に修正できます。

## 今後の活用シーン

### ■入院案内をタブレットで実現

今後はシステムを説明するセミナー用の動画や、セミナー開始前の待ち時間に流す製品紹介の動画などをDojoで作っていきたいと考えています。特に力を入れているのはタブレットでの入院案内です。今は看護師が患者様やそのご家族に直接説明していますが、Dojoで入院手続きや手術前の案内などをコンテンツ化できれば、患者様が画面で自分のペースで確認でき、さらに看護師の対応工数も減るため生産性の向上が見込めます。

## ■情報セキュリティのための業務手順書作成

当社では、令和元年に千葉県を直撃した台風15号をきっかけにテレワークを導入しました。現在の新型コロナウイルスの影響下でも、全社でテレワークを行っています。アフターコロナ(新型コロナウイルス終息後の状況)で働く場所を問わない自由な働き方にも変わることも鑑み、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)を構築・運用するための業務手順書をDojoで作成したいと思っています。

## 今後、期待すること

### ■Dojoに求めること

自動音声合成機能に男性の声もあると嬉しいです。他部署からコンテンツの内容次第で男性の声の方が優しく聞こえる場合もあるのではないかと意見があり、音声の種類を選択できれば良いと思います。あとは、無料で開催しているトレーニングセミナーを大阪や神戸などでも開催してほしいです。近日開催予定とのことですが、WEBセミナーとして開催されることにも期待しています。

## ■ User Profile (2020年7月1日現在)

株式会社ソラスト  
設立：1968年10月  
代表取締役社長：藤河 芳一  
資本金：5億8,300万円  
従業員数：約27,000名  
業務内容：医療関連受託事業、  
介護・保育事業、その他  
本社所在地：東京都港区港南1-7-18  
A-PLACE品川東6F

# アフターコロナに向けた対策とは ～テレワークの浸透で重要性が高まる、 マニュアルの作成時間を6割も削減～

Dojo(ドジョー)をご活用いただいているセンコーグループホールディングス株式会社様に、Dojoの活用事例及び新型コロナウイルス影響下でのマニュアルの重要性について、お話を伺いました。



センコーグループホールディングス株式会社  
写真右から、IT推進部 主任 遠藤 真広 様、益田 唯花 様

## User Profile (2020年3月31日現在)



センコーグループホールディングス株式会社  
設立：1946(昭和21)年7月  
代表取締役社長：福田 泰久  
資本金：265億28百万円  
従業員数：17,644名  
業務内容：物流事業、商事・貿易事業、  
ビジネスサポート事業、ライフサ  
ポート事業)  
本社所在地：東京都江東区潮見2-8-10  
潮見SIFビル

## 導入に至るまで

### Dojo導入前の課題

当社では今まで新入社員などに作業を教える際、Excel、PowerPointなどのMicrosoft Officeを使って作成したマニュアルを利用していました。PC画面のスクリーンショットをExcelなどに貼り付け、吹き出しを挿入して説明文を記載する……と、作成するのにとても手間がかかっていました。また、折角作成したマニュアルを修正するにも、工数がかかるため十分にメンテナンスができておらず、結局、口頭で説明を済ませてしまうこともありました。加えて、マニュアルを各個人がローカルに保存して使用するなど、作成やメンテナンスの工数の多さの他に、共有できていないことも課題でした。

## 導入効果・活用方法

### マニュアル作成工数を6割削減

「Dojo」の導入で、一番の課題であった**マニュアルを作成する工数を6割削減することができました**。「Dojo」は誰でも簡単にマニュアルを作成できるので、様々なシーンで活用できます。例えば、PCの初期設定、社内システム操作など、必要なマニュアルを数多く作成しました。さらにPCの操作だけでなく、テレビ会議機器操作などもマニュアル化しているので、社内にはたくさんのマニュアルがあるのですが、修正が簡単なので手順の変更があっ

ても容易にメンテナンスできるようになりました。一方で、システム操作に関する社内の問い合わせ対応でも「Dojo」を活用しています。以前は都度口頭で対応していましたが、よくある質問をマニュアル化し、問い合わせがあった場合はまずマニュアルを見てもらうようにすることで、対応の工数も減りました。「Dojo」で作ったマニュアルはセキュアで社員のみがアクセスできる場所に保存し、共有化の課題もクリアできました。



### センコーグループホールディングス様 マニュアル作成事例 (参考資料：ブラウザの設定変更マニュアル)

## 導入の決定

### Dojo導入の決め手

そのような折、セミナーで「Dojo」を知りました。他のマニュアル作成ツールも広告や展示会で見かけていたので、導入を検討することになりました。他のツールと比較検討した結果、最終的に2製品が残りましたが、「Dojo」導入の**決め手となったのは、操作の容易性です**。操作手順は極めて簡単で、一番驚いたことは一度操作したステップが記録されることです。自動で操作内容の吹き出しが記載されたり、クリック箇所には枠線が表示されたりする機能にも衝撃を受けました。その他にMicrosoft Officeや動画、HTML5などの様々なファイル形式で出力でき、操作を疑似体験できる機能も魅力的でした。

#### 2: 「設定」ボタンをクリックして下さい



一度操作した内容は、自動で吹き出しに記載されますし、クリックする箇所は赤枠で表示されます。

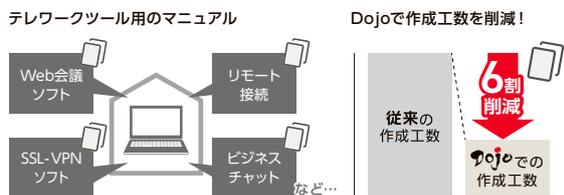
作成したマニュアルを、手順の変更などで修正する場合も、操作が簡単なので、工数をかけずに容易にメンテナンスが可能です。

#### 6: "使用したいWebブラウザ"をクリックして下さい



## 急に始まった全社的なテレワークに、「Dojo」を賢く活用！

### 1 急なテレワークで、必要になったマニュアルを「Dojo」ですぐ作成！



### 2 頻繁なアップデートによるマニュアル修正も「Dojo」で迅速に対応！



### 3 デスクトップ録画機能で作成した動画コンテンツで、「説明会」を即実施！



### 4 動画コンテンツは、説明会後に参加者が活用できる！



## 新型コロナウイルスの影響下での使い方

### ■テレワークにおける課題

当社では以前から小さなお子さんのいる社員や遠方に住んでいる社員を中心に在宅勤務制度を整えていましたが、新型コロナウイルス感染予防対策のため、急に多くの社員がテレワークを行うことになりました。全社的なテレワーク実施にあたり、社外から社内システムに接続する方法、コミュニケーションツールの使い方を手順化し、テレワークを行う社員に対して手早くかつ分かりやすく説明することが求められました。

### ■テレワークに必要なマニュアルも迅速に作成

前述の通り、「Dojo」でマニュアル作成を容易に行えることを知っていたので、すぐに必要なマニュアルを用意することができました。特にWeb会議のソフトはセキュリティ強化のアップデートに伴い、画面や操作方法がどんどん変わっていくため、「Dojo」がなければ、大変なことになっていたと思います。

もちろん、各ソフトには付属の操作手順書やWebサイト上に操作手順案内も掲載されていますが、それだけでは理解できないことがあります。当社では



「Dojo」のデスクトップ録画機能を使い、操作方法をそのままHTML5形式の動画コンテンツにして、すぐに説明会を開催することができました。また、作成したコンテンツは、参加者が必要に応じて、説明会後に操作方法を確認する際にも活用してもらいました。

### ■テレワークの浸透で高まるマニュアルの重要性

新型コロナウイルスの終息後（アフターコロナ）でもテレワークの浸透が予想され、社員のための様々なマニュアルが必要になると思います。さらなる業務効率化も求められています。現状の作業を知り、どこを改善するか検討する上でもマニュアルは重要であると考えています。

当社のグループでBPOサービスを提供している会社でも、現在「Dojo」を導入しており、作業手順書の整備を進めています。新入社員や中途入社社員がすぐに担当業務の作業手順を習得できるようになりました。「Dojo」では操作ごとにキャプチャーが取れるので、細かい操作手順も漏らすことなく、初めて作業を行う人に向けて、画像で分かりやすく伝えることができます。

### ■アフターコロナに向けた対策

全社的なテレワークの導入により、日々の業務の計画と実績の報告が必要になったことから、今までの業務を見直す良いきっかけとなりました。出社と在宅では、コミュニケーションの方法を変えなければなりません。テレワークでは些細な事で手を止めることなく、事務作業や企画考案に集中

することができます。その一方で、傍にいればちょっとした会話で解決できることに、時間がかかってしまいます。テレワーク環境で画面共有など、相手と情報的確に共有できる便利なコミュニケーションツールがありますが使い方が分からない社員も多い状況です。

そのため、「Dojo」でマニュアル整備の強化を計画中で、今年度中を目標に、社内のシステム操作に関するナレッジサイトを開設する予定です。現在は主にPowerPoint形式で作成しているマニュアルを、疑似体験ができるHTML5形式のコンテンツにして、そのサイトで共有していきたいと思えます。また、現在のテレワーク環境に関する社内アンケートを行う予定です。アフターコロナにおいても社員の声に応えながら環境を整え、テレワークをさらに効率的に行えるようにしていきたいと思えます。

## Dojoへの期待

### ■今後Dojoへ期待すること

今後、動画のマニュアルも作成するため、コンテンツに音声を入れやすくなることにより良くなると思えます。動画は音声で補足説明をすることでさらに分かりやすくなるので、キャプチャー中に自身が話した内容も「Dojo」で音声データ化やテキスト化できると便利ですね。

また、今後「Dojo」の応用的な使い方やバージョンアップ機能を説明するウェビナーを開催していただくとさらに活用の幅が広がると思えます。

# Dojoで業務効率化！ 営業デモで効果的な説明動画も自在に作成

システム構築・運用に関わるパッケージ製品、サービスを開発・販売しているセイ・テクノロジーズ株式会社様に、Dojo(ドージョー)の活用事例についてお話を伺いました。



マーケティング部  
部長 吉見 孝信様

## ■ User Profile (2021年2月4日現在)



セイ・テクノロジーズ株式会社

設立：2001年3月

代表取締役社長：三瓶 千里

資本金：9,000万円

従業員数：23名

業務内容：オープン系サーバーシステムの  
運用管理ソリューションの提供

本社所在地：東京都文京区水道1丁目 12-15  
白鳥橋三笠ビル 8階

## 導入の背景

### ■ 煩雑なスクリーンショットの管理

お客様向けのインストール手順書を手作業で作成していました。1画面ずつスクリーンショットを撮り、Wordで作っていたのですが、スクリーンショットが増えれば増えるほど、どの画像がどの手順の画面なのか分からなくなってしまい、スクリーンショットの画像管理が煩雑でした。また、人間が作成する以上、文言や形式を統一することが非常に難しく、個人によってクオリティがバラバラになっていました。

画像のファイル名を変え、どの画面なのか分かりやすく管理したり、先に説明文章を書いてから画像を挿入したりと、色々工夫はしてみました。しかし取扱製品が増え、手順書作成の工数が増加したため、ツールを導入して解決しようと思いました。

## 導入の決定

### ■ 一番操作が簡単なツール

ツールの導入にあたり、まずは無料のスクリーンショット保存ツールを試しました。しかし、撮った画像の整理が思うようにならず、作業した手順通りに画像を生成することができませんでした。

その点Dojoは、**実作業をそのまま手順書に落とし込める上、さらに補足の文章を簡単につけることができます。**今までは、開発知識のある専門のプリセールスのメンバーが手順書や営業資料を作成していましたが、Dojoを使えば専門外の営業メンバーでも、デモ画面を使った資料が作れます。「**一番簡単に手順書が作成できるのはDojoだ**」という結論になりました。

## 具体的な利用について

### ■ 手順書以外に営業用製品説明動画も作成

Dojoはインストールが簡単で、導入時に

は操作指導も行っていただき、すぐに使用方法も理解することができました。現在はお客様向けのインストール手順書だけでなく、リモートツールの設定手順書なども、WordやExcel形式で出力し作成しています。

さらには、当社製品のサーバー設定仕様書自動生成サービス「SSD-assistance (エスエスディー アシスタンス)」の説明もMP4形式で出力しています。こちらは営業メンバーがデモンストレーションを行う時に使用しており、音声を入れて説明動画にしています。**Dojoを使えば、営業がさくっと動画を作ることができるので、重宝しています。**



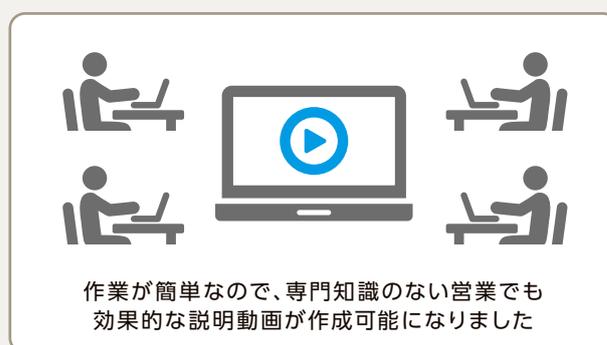
## 煩雑だった画像管理が Dojo により簡単・効率化!



### 全体の作成工数は約15%も削減!



### 営業メンバーも説明動画を作成可能に!



## 導入効果

### ■15%の作成工数削減と業務効率化

手作業で手順書を作っていた時と比較して、**全体の作成工数は約15%削減されました**。今までは画像管理に手間取っていましたが、Dojoは操作に合わせて自動的にスクリーンショットが撮影され、作業した手順ごとに編集画面で確認できるので、どこの画像なのか迷うことは無くなりました。

扱う製品数が増えましたが、当社の人員は限られています。Dojoを利用することで、**専門の知識を習得しなくても、営業の誰もが効果的な説明動画を作成できるようになりました**。現在、増員することなく業務をスムーズに回しているのは、Dojoで業務効率が良くなったことが大きく貢献しています。

## 今後の期待

### ■Dojoで属人化を改善

テレワーク環境下では、システムトラブルに対する対応手順書が必要になると考えています。システムトラブルに関しては情報システム部門が対応しますが、多くの場合は属人化しています。出社していれば直接担当者に聞いて解決したかもしれませんが、テレワークではすぐに聞いて解決することは難しくなりました。

**Dojoでシステム操作手順書を作ること**で、こうした事態を未然に防ぎ、属人化を脱却し、テレワーク時の社内インフラを整えられるのではないかと思います。

今後はDojoを使って、社内システムの運用手順書の作成を進めていきたいです。当社ではテレワークで業務を行う人が増加していますので、SaaS版Dojoが



あったら良いと感じています。また、ハンズオントレーニング用の動画の作成でも、Dojoを使いたいと考えています。属人化の改善だけでなく、引き続き工数を削減していけるよう、Dojoを活用していく予定です。

# 手順を伝える意思疎通を円滑に！ 90%以上の工数削減の手ごたえ

アイカ工業株式会社様に、Dojo(ドージョー)の活用についてお話を伺いました。



情報システム部  
主任 福井 健太郎 様、生田 亜裕 様

## User Profile (2021年3月末現在)



アイカ工業株式会社  
 設立:1936年10月20日  
 代表取締役 社長執行役員:小野 勇治  
 資本金:98億9,170万円  
 従業員数:(連結)4,796人(単独)1,228人  
 事業内容:化成品・建築建材の製造・販売  
 本社所在地:愛知県名古屋市中村区名駅一丁目  
 1番1号 JPタワー名古屋26階

## 導入の背景

### ■作業の効率化に 頭を悩ませていた時に会ったDojo

事業領域が幅広く、業務も様々な分野に枝分かれしている当社において、日々の業務ではいかに効率的かつ円滑なやり取りが出来るかが、業務効率化の重要なカギとなっています。そしてそれは社内だけにとどまらず、協力会社などの外部とのやり取りにおいても同じです。

その効率的かつ円滑なやり取りの上で要となるのがマニュアルですが、今までは画面をスクリーンショットしたものをExcelやPower Pointに貼り付け、さらに吹き出しを追加し説明文を書くなど、昔ながらのアナログなやり方のままでした。そのため、ちょっとした手順書を作るにも、概要作成から完成まで含めて、トータルで約3日の時間を要していました。



社内で「初めから手作業で作成せずとも、いまどき自動で、ある程度マニュアルを作成してくれるようなITソリューションが存在するのでは?」との声が上がリ、使い勝手の良いものを探したところ、出会ったのがDojoでした。

## 比較検討

### ■機能性・操作性・費用面で比較

現場の要望として、画面上で操作したものをそのままExcelやPowerPointに出力したいというものがありません。加えて、弊社としては機能性・操作性・費用の3つの側面で優れていることは妥協できず、その点を踏まえて、世に出回っているツールの中から5製品を比較検討しました。Dojoは、直感的な操作が出来るユーザーフレンドリーなインターフェースを持っていましたし、費用面ではスモールスタートできるライセンス体系になっており、とても便利だと感じました。

- 機能性:豊富な出力形式
- 操作性:ユーザーフレンドリーなインターフェース
- 費用:スモールスタート可能

そして、最終的に残ったのが、Dojoともう一社のツールの2つでした。

## 導入の決定

### ■位置ズレが生じない コメントの自動書き出し機能が秀逸

Dojoともう一社のツールはどちらも高評価だったのですが、最終的にDojoを選んだ決め手はマルチディスプレイへの対応と、コメントの書き出し機能が優れている点でした。

当社で事務系の業務をしている社員の作業環境はマルチディスプレイが主流ですが、Dojoであれば複数の画面もスムーズにキャプチャー可能です。

さらに、Dojoのコメント書き出し機能では、キャプチャー取得後に改めて編集する必要がほとんどありません。何といてもコメントが表示される位置が的確で、意図した場所にきちんと置かれるので、素晴らしいと感じました。コメントを自動で書き出す機能は他社のツールでもあるのですが、多くの場合、コメントは説明するボタンの位置から大きくズレていました。ズレた場合、後々一つずつ修正することになり、とても手間がかかりました。

## Dojo を選んだ決め手は機能性！

競合比較表

	機能	操作	費用
Dojo	◎	○	○
製品 A	○	○	×
製品 B	○	○	△
製品 C	×	○	△
製品 D	×	×	○

コメントの自動挿入機能で  
的確な指示が可能



画面操作をそのまま  
動画マニュアル化

## 操作感

### ■PCにサクッとインストール。 あとは直感的に

いざ導入した際は、インストール時のセットアップ手順も、とても分かりやすくて助かりました。手順自体もとてもシンプルで、10分もかからずに完了しました。ツール自体もさまざまな操作が直感的に行えるようになっていて、大変効率的です。

### ■不明な点もサポートサイトですぐに解決

Dojoの認証サーバーの移動をすることになり困った時は、DojoのユーザーサポートサイトにあるFAQにお世話になりました。FAQは本当に頼りになっていて、**サイトにはチャットボットも常駐してくれているので安心です。**チャットボットに関しては、もう少し長文の質問にも対応してくれたり、リアルタイムに返事がもらえる有人チャットが開設されたりすると、さらに嬉しいと思っています。\*

\*現在ではご要望にお応えし、有人チャットも開設しました

## 導入効果

### ■今までにないスムーズなやり取りで、 取引先ともWin-Winな関係に

現在はちょうど基幹システムの刷新をしており、外部の複数の協力会社に対して、依頼や指摘をすることが多々あります。システムの予期しない動作の発生を相手に伝える場合にも、Dojoが活躍して

くれています。発生手順をDojoで動画マニュアル化し、協力会社に送ることで完全に動作を再現できるようになり、**今までにないスムーズさで意思疎通が図れています。**

今までは、再現できない場合は“動作の発生手順を伝える”必要があったのですが、どうしても上手くいかず、毎朝1時間も使い、打ち合わせをしていました。この打ち合わせだけでなく、当社と協力会社の双方が口スしていた時間と労力が、今ではかなり節約できています。**長い説明文や、急いで作った手順説明書に代わり、シンプルで短い1~2分の動画によって一発で伝わるようになりました。**結果、毎朝の打ち合わせも10分~15分程度で済んでいます。協力会社側からも「**動画はわかりやすい！有難い！**」という声が多いです。

### ■90%以上の工数削減の手ごたえ

さまざまなやり取りやその準備、そして手作業でマニュアル作成をしていた頃と比べて、**直感的に90%以上の工数が削減**できているような気がします。今後は、基幹システム以外の分野でも利用していきたいのではないかと考えています。特に、Dojoを利用して良かったと感じたことは、「早い、簡単、正確」この3点です。作業を進める上での大事な要素であると考えており、Dojoでマニュアルを作ること、この3点を満たすことができます。しかも新人社員がすぐに使いこなせるのが、素晴らしいです。

## テレワークでの利用

### ■離れている社員への教育にも活用

Dojoはテレワークにおいてもかなり有用です。例えば新入社員とのOJTでも、互いに離れた場所で作業を教えるのは大変難しいのですが、一つの手順を動画で伝え、そして習う側も実践した作業を動画にして送り返すことですぐにチェックできます。

その他、ちょっとした作業依頼を出す場合でもDojoを利用するケースが多くなってきました。動画で伝えることにより、認識齟齬のリスクが減るのも実に助かります。そういった意味で、もはや手順書すら不要な場面が増えている状態です。

## 今後の期待

### ■分かりやすいマニュアルを目指して

協力会社各社には成果物として、マニュアルも作成・納品いただく予定なのですが、多くの場合、「システム目線」の取扱説明書に近い堅苦しいものになる傾向があります。そういった「システム目線」のマニュアルを、Dojoを使って「利用者目線」のマニュアルに変えていきたいです。マニュアルの肝心な目的、それは「相手に理解してもらうこと」であると考えています。動画ベース・紙ベースの形式に関わらず、視覚的に分かりやすいマニュアルにするため、Dojoを活用していけたら良いなと思っています。

# わかりづらい作業手順書から、 視覚的にわかりやすく使える作業手順書に ～100時間もの工数削減！～

Dojo(ドジョー)をご活用いただいているイー・シー・エス債権管理回収株式会社様にお話を伺いました。



左から 東京センター 當仲 優月様 事務センター 須藤 地平様 東京センター 秋山 由妃乃様

## User Profile (2021年3月1日現在)



イー・シー・エス債権管理回収株式会社  
 設立: 平成11年2月16日  
 代表取締役社長: 松山 正弘  
 資本金: 6億円  
 従業員数: 386名(2021年3月現在)  
 事業内容: 債権管理回収業務の受託、  
 集金代行業務、債権の買取業務等  
 本社所在地: 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目  
 3番地 幕張テクノガーデンD棟16階

## 導入の背景

### ■新入社員にはわかりづらい作業手順書

今までの作業手順書は、実務に慣れた担当者がExcelやPowerPointなどで個別に作成していたため、イメージ図を取り込んだわかりやすいものが作成できず、活字ばかりで、入社して間もない従業員にとってはわかりづらいものとなっていました。そのため、折角時間をかけて作成したにもかかわらず、結局、マンツーマンで画面の見方や作業手順を一から教える事となり、作業手順書が使われなくなることもあったため、作業が簡単で、かつ誰が見てもわかりやすい作業手順書を作れないか、ツールの検討を始めました。

## 導入の決定

### ■視覚的にわかりやすい マニュアル作成ツール

導入にあたり、まずは展示会でマニュアル作成ツールを探しました。2社の説明を受け、

その後トライアル版の試用もしました。価格面と、営業の方の対応が丁寧だったこと、そして何より視覚的にわかりやすいマニュアルを作れるツールであることから、Dojoの導入を決めました。今までは、業務フローを説明する際、画像は添付作業が大変でうまく盛り込めていませんでした。その点、Dojoを使えば簡単に画像を挿入できるので、実際の作業手順が視覚化できて、テキストを読むのではなく見てわかりやすい作業手順書が作れると思いました。

## 具体的な利用方法

### ■架電時の情報照会方法のビジュアル化

Dojoは誰でも利用できるように社内でも共有しており、各部門の担当者30名ほどがそれぞれマニュアルを作成しています。債権回収部門では、操作イメージを掲載した作業手順書を作成しました。電話業務において、顧客の対応によっては複数のシステムを確認する必要があり、慣れない従業員にとっては、煩雑でわかりにくい

業務です。Dojoであれば、複数のシステムを立ち上げて確認する作業を、同時にキャプチャー(画面取得)することができるので、作業の工程ごとにイメージ図が添付された、初心者でもわかりやすい作業手順書を作成できました。

一方、事務部門では、債権届出書の作業手順書を作成しました。文書を作成する時の、画面をキャプチャーするだけでなく、システムへのデータの入力方法や画面の見方などの解説も簡単に追記できるので、その他に、社内のワークフローの申請方法や、文書管理ソフトの使い方など、多岐にわたる作業手順書を作成しました。作成したものは共有フォルダで管理し、社員の誰でも閲覧できるように公開しています。



## Dojoで誰でも理解しやすいマニュアル作成が可能に!

今までのマニュアルは・・・

- 活字ばかりのマニュアルで、制作に時間がかかる
- マニュアルの見方が分かりづらく、説明の時間が必要
- イメージ画像の添付が大変



**Dojo**を使えば一気に解決!

作り手にとっては・・・



キャプチャーの手間や  
順序を間違える  
ケアレスミスが無くなった!

読み手にとっては・・・



キャプチャーと説明で視覚的に  
理解しやすいマニュアルが  
作ることができていると実感!

**トータルで100時間の工数が削減!**

### 導入効果

#### ■100時間もの工数削減

Dojoでは、実際の画面で作業をするだけで、そのままツール上でコメントの入力などの編集操作を行い、WordやPowerPointなどのアプリケーションに出力できるので、非常に楽で効率がよくなりました。マニュアル1ページあたり約20分の時間短縮ができています。例えば事務部門のマニュアルだと、ページ数は平均50ページ程度で6部あるので、トータルで6,000分、つまりは100時間の工数が削減できました。

#### ■ビジュアル化されて

誰でもわかりやすい作業手順書に

当初の課題であった、わかりやすい作業手順書の作成は、Dojoを使用すること

で、解決できました。しかも、Dojoで作成すると、前回作成したときの元データを編集、そして出力ができるので、改定時の作業が楽になりました。Dojoはパソコンで操作した作業手順をそのまま記録できるので、**作り手にとってはキャプチャーの手間や順序を間違えるケアレスミスがなくなり、読み手にとってはキャプチャーと説明で視覚的に理解しやすいマニュアルが作ることができていると実感しています。**

### 今後の活用

#### ■既存の作業手順書もDojoで改善予定

過去に手作業で作成した作業手順書もDojoで作り変えていきたいと考えています。特に事務部門では、既存の作業手順

書がいくつもあるため、業務フローをベースに作り替えることで、よりわかりやすい作業手順書に改善していきたいと思えます。

#### ■シミュレーションコンテンツの活用

Dojoでは手順書を作成する以外にも、実際の作業を説明付きで疑似体験することができるeラーニング用の教材を作成することもできます。実務においては、作業の分岐が多く先輩社員がついて教える必要があるものが多いため、実際の作業を疑似体験しながら学ぶことができるシミュレーションコンテンツを作成することにより、先輩社員がついて教える時間を削減していきたいと思えます。

# Dojoで研修資料の作成工数を76時間削減 ～対面からオンラインでの研修へ、質を落とさずスムーズに移行～

東海東京アカデミー株式会社様に、Dojo(ドージョー)の活用についてお話を伺いました。

東海東京フィナンシャル・ホールディングス  
TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.

東海東京証券



教育支援部  
部長 酒井 正義 様

## ■ User Profile (2021年3月末現在)

 東海東京アカデミー株式会社

東海東京アカデミー株式会社

設立: 2011年3月2日

代表取締役社長: 野崎 松寿

資本金: 5千万円

従業員数: 23人(2021年7月末現在)

事業内容:

- ①人材の職業適性能力開発のための教育及び指導
  - ②各種資格、検定取得のための教育及び指導
  - ③講演会、研修会、各種セミナーの企画、立案及び運営
  - ④教材、書籍、教育機器の企画、制作及び販売
  - ⑤その他情報収集、情報分析及び情報提供サービス
- 本社所在地: 東京都中央区新川一丁目17番21号  
茅場町ファーストビル8階

## 導入の背景

### ■研修資料の作成工数、さらにはオンライン化が課題

弊社は東海東京フィナンシャル・グループにおける、教育・研修の専門会社として2011年に設立されました。金融・証券分野に特化した教育・研修会社であり、経済や商品知識、マネジメントや営業教育など幅広い分野の研修の企画、運営を担っています。

各研修はこれまで集合による講義形式が中心であり、PowerPoint・Word・Excelなどで作成した研修資料を使って来ました。講義内容に合わせて資料は、プロジェクターでの投影、印刷配布、iPadでのシェアと、適切と思われるやり方で受講者に提供しています。研修資料は一つの科目で平均40ページ程度あります。当然、資料のアップデートや新規の研修のための企画や資料作成にも相応の時間がかかります。単に人員を増やせば解決できるものではないため、研修資料の作成時間を少しでも効率よくできないか悩んでいました。

また、研修の内容によっては、集合研修形式ではなくeラーニングなどWeb形式で提供できれば、受講者と実施側双方にとって時間やコストの削減にもつながるため常々課題として認識していました。しかし、当社が提供する研修は内製化しているものがほとんどであり、Webに適した研修コンテンツに仕上げる経験が乏しいことから、何か有効なツールはないものかと、その模索を始めていました。

## 導入の決定

### ■自動音声合成機能で簡単にオンライン研修コンテンツを作成

そんな中、IT製品の展示会でDojoの存在を知りました。当初は業務効率化ツールD-Analyzer(ディーアナライザー)に注目していたのですが、打ち合わせの時にDojoをご紹介いただきました。

商品説明の中で最も印象的だったのが、入力したテキストをそのまま音声として保存できる、自動音声合成の機能です。当時は、オンライン研修用のコンテンツの作

成は、「講師の声を録音してコンテンツに載せる」もしくは「講義自体を録画する」ことを想定していました。この場合、作成物の修正は、軽微なものであっても最初から撮り直さなければいけなくなってしまいます。専門部署の第一線で多忙を極める方に講師を依頼するケースもあり、撮り直しの時間確保が実施上、最大のネックと考えていました。

しかしDojoの自動音声合成機能を使えば、変更箇所はもちろん、ちょっと気になった程度の修正であってもテキストを直し、出力し直すだけで簡単に更新できます。加えて、講義を行う専門部署の方は、マイクやカメラに向かう収録という行為が必ずしも得意な人だけではないため、研修のオンライン化へのハードルも下がりそうだと感じました。しかも、既存のPowerPointの資料を取り込み、そのノートの内容を音声として起こすこともできるので、既存の研修資料を活用することもできます。Dojoならば効率的にオンライン研修のコンテンツを作成できると確信し、導入を決めました。

## Dojoの自動音声合成機能で資料作成が簡単に！

未経験の受講者へ操作手順の疑似体験を通して学習できる研修プログラムを開発



研修用コンテンツなどは、入力したテキストをそのまま音声として保存できる

コンテンツの音声再生機能で集合研修時の講義に近い形で受講できる

資料作成時間が年間で約76時間短縮可能に！



## 導入効果

### ■コロナ禍での研修はDojoで質を維持したままオンラインに移行

弊社では、これまで新入社員を対象に4月から、2か月間の集合研修を行っていました。しかし、2020年はコロナ禍によって、開始直前に集合研修の中止が決まり、その対応に苦慮しました。新入社員全員が寮や自宅で待機となる中、課題を課して自習させることには限界があり、従来の研修内容には遠く及ばないものしか提供できない恐れを感じていました。しかしこの時も、自動音声合成機能を持つDojoは活躍してくれました。講義内容をオンライン用に改訂しDojoのコンテンツへ落とし込み、弊社で利用しているLMS(学習管理システム)上に載せ、新入社員に展開し、集合研修時の講義に近い形で提供することができました。もちろん



Dojoに対応できるもの、対応できないものはありましたが、知識学習などは受講者の既得レベルに応じて各自で学習時間が調整できるため、確かな基礎力の習得に寄与したと感じています。緊急事態宣言の下、多くの制約がある中で、研修の質を一定以上に保つことができ、大変助けられました。

その後も、弊社の中でDojoの活用は続きます。例えばアプリケーションの操作研修。Dojoで作ったHTML5形式のコンテンツには、作業のシミュレーションを行う再生モードがあります。これを活用して実際の業務の執行手順を再現することで、**未経験の受講者へ操作手順の疑似体験を通して学習できる研修プログラムを開発でき、現在多くの方に活用いただいています。これはDojoがないと実現できなかった取り組みです。**

受講者からも「アプリケーション操作の疑似体験は、実際の業務への移行時に大いに役立った」「初めてのオンライン研修で心配だったが、音声付き動画は単なるeラーニングと違い学びやすかった」などの感想が寄せられました。コロナ禍における研修の枠組み作りや新しい研修プログラムの開発に大活躍してくれたDojoはまさに救世主だと思っています。

### ■年間76時間の作成工数削減

Dojoを利用したことによる工数の削減については、試算した結果、**資料作成時間が年間で約76時間短縮できました。**Dojoが捻出してくれた時間は、新しい研修計画やコンテンツの立案など、他の業務に充てることができています。業務の効率化は、明らかに我々の業務の質向上に好影響をもたらしてくれています。



## 今後の展望

### ■さらなるコンテンツの拡充

Dojoを使い現在までに20以上のコンテンツを作りました。これらは全て従来対面で行っていた講義をオンライン化したものです。今後も提供している研修の中でオンライン化に適したのを見極め、DojoでのLMSコンテンツの拡充を行っていこうと考えています。

進化するマニュアル。

# Dojo シリーズ

## Dojo シリーズをもっと知る

導入事例集をご覧ください、ありがとうございました。  
Dojo シリーズの詳しいご紹介資料や実際に製品をお試しいただける  
無料トライアルもご用意しております。ぜひお試しください。

### 無料トライアル

無料で Dojo シリーズ各製品をお試しいただけます！



無料トライアルはコチラから！

<https://tepss.com/trial/>



### オンラインデモ予約

実際の操作画面のデモをご覧ください。

<https://bit.ly/3FuOVAc>



### お問い合わせ

まずはお相談ください。

<https://tepss.com/contact/>



株式会社テンダ